

(事業名) 中央公民館図書室フリースペース化の検討	(令和3年度予算額) ー 千円
<p>1. 事業の目的・方向性 中央図書館及び中央公民館利用者からの要望が多い自主学習等への対応と図書館サービスポイントとしての活用を目指す。</p> <p>2. 事業の内容 (1) 中央公民館図書室を自主学習や読書をするスペースとして市民が活用できるよう改修し、フリースペース化を図る。 (2) 図書館サービスポイント機能（予約資料の受渡し・貸出資料の返却）を推進する。</p> <p>3. 課題・懸案 (1) 中央公民館図書室の自主学習用フリースペース化 ・個別・グループ利用のための机・椅子，照明，コンセント設備（PC等情報機器の利用） ・不要になったカウンターや本棚等の処分 ・中央公民館におけるフリースペースの維持管理 (2) 図書館サービスポイント機能 ・中央公民館の職員による予約資料の受渡し（マニュアル作成：中央図書館） ・返却ポストについては継続（定期的な回収：中央図書館） ・図書館資料は中央図書館へ移管（作業：中央図書館） ・棚に置く本は図書館のリサイクル資料（自由配布）を活用（定期的な作業：中央図書館） ・これまでと異なり，中央公民館図書室に常駐する図書館職員が不在となるため，図書館資料貸出について申込みの受付方法を検討（予約用紙受け渡し他，学校★(ほし)ほん申込方法に準じた対応可能かを検討） ※フリースペースの管理と図書館資料の予約受渡しを中央公民館対応とすることで，図書館職員の派遣が不要となり，経費の有効利用が期待できる。</p> <p>4. 対応方針 施設利用者のニーズに沿い，予約資料の受渡しと返却機能は継続するとともに中央公民館図書室の新たな活用方法としてのフリースペース化の整備を行う。</p> <p>5. 参考 ・中央公民館を除く他の公民館図書室については，従来通りし存続させる。 ・他市の参考例 ○姫路市「花の北市民広場」 ○滋賀県野州市立図書館（フリースペース） ○埼玉県三芳町立中央公民館「子どもの居場所」 ○武蔵野プレイス</p>	